

株式会社 **MORESCO**

小さくとも世界にきらりと光を放つ企業を目指して

第2四半期業績の概要

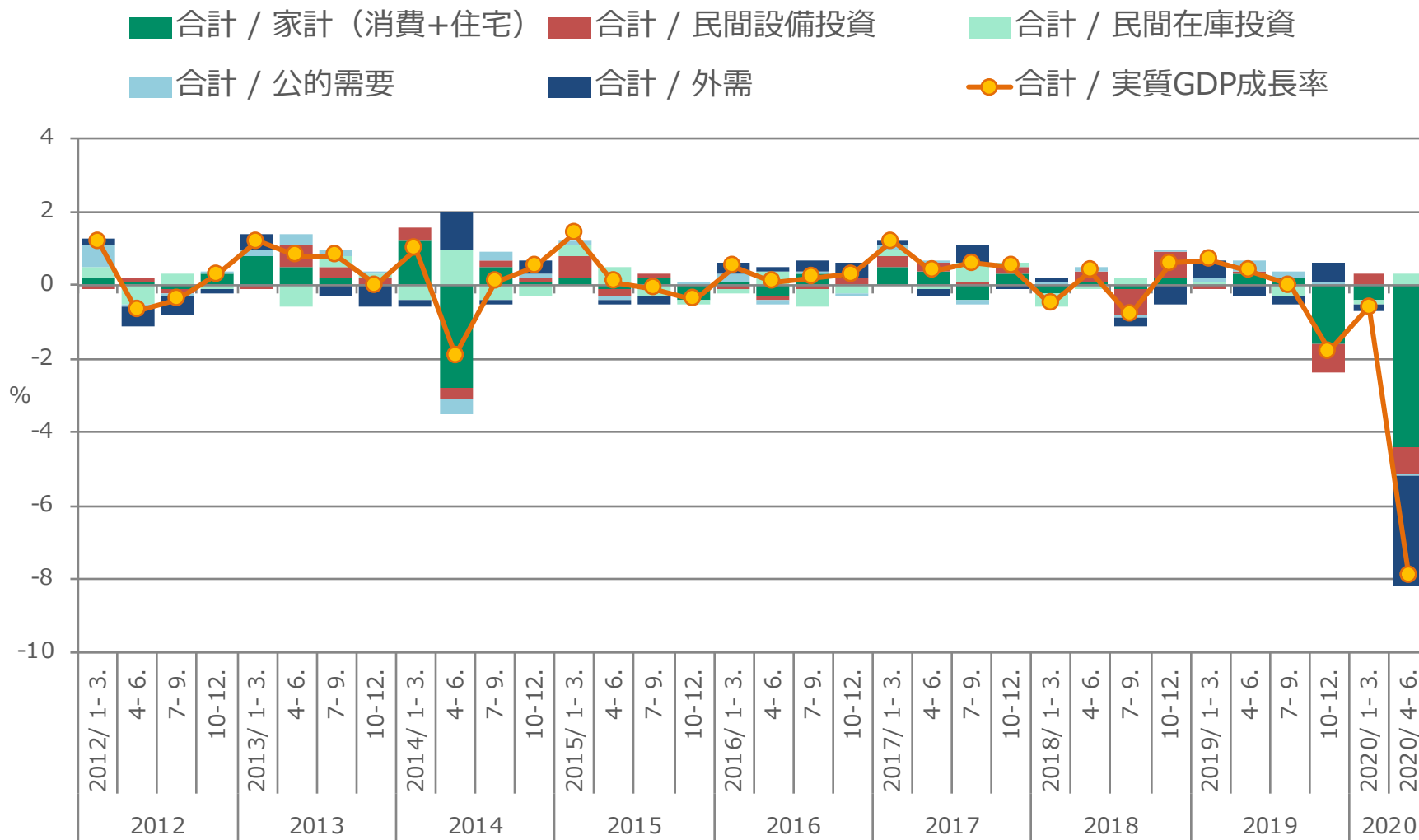
(2020年3月1日～2020年8月31日)

東証第一部5018 (石油・石炭製品)

2020/10

四半期別 実質GDP寄与度 推移

出展：内閣府



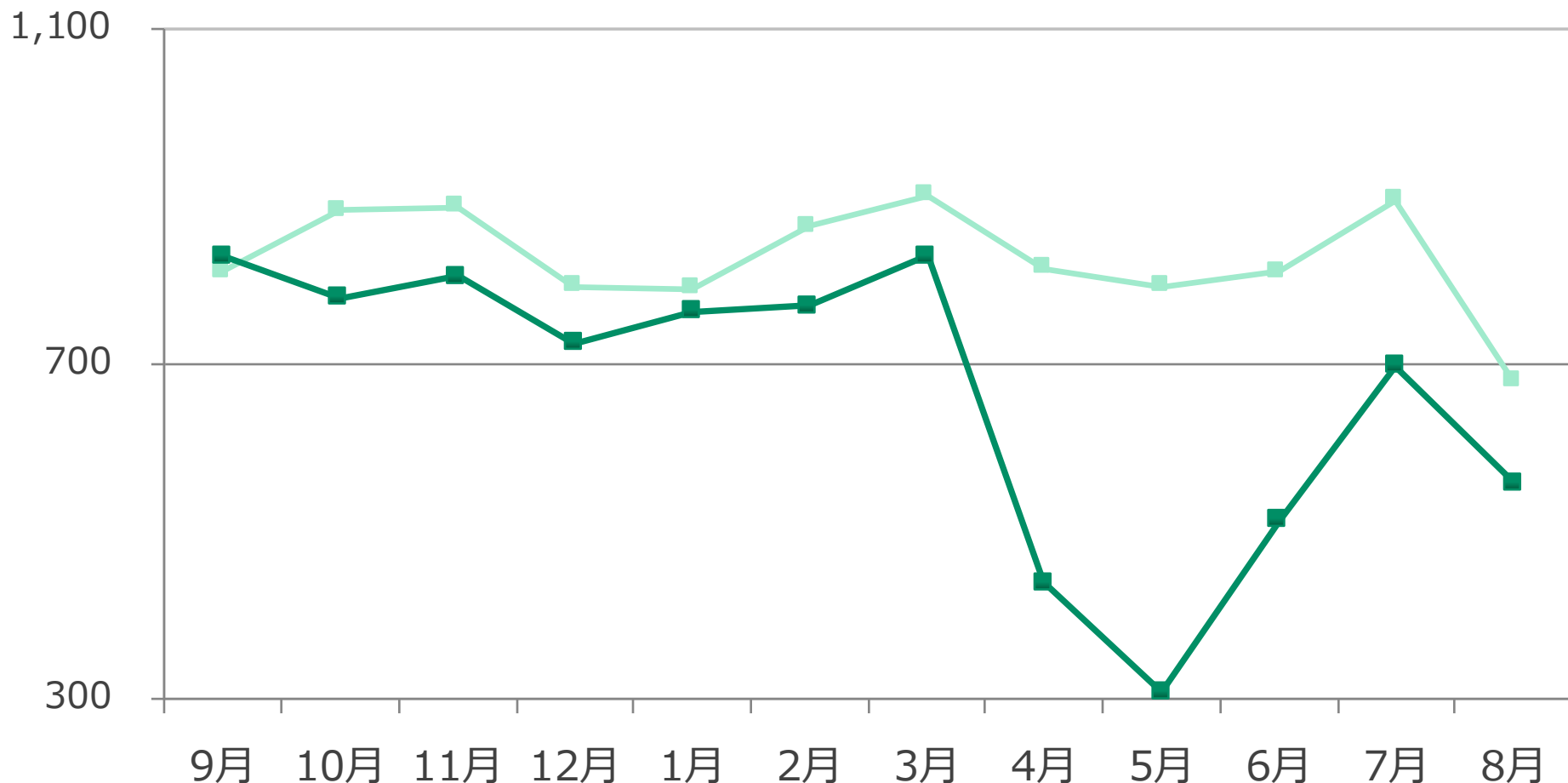
国内 月別 自動車生産台数

2018.9-2019.8

2019.9-2020.8

出典：日本自動車工業会
マークラインズ社

単位：千台

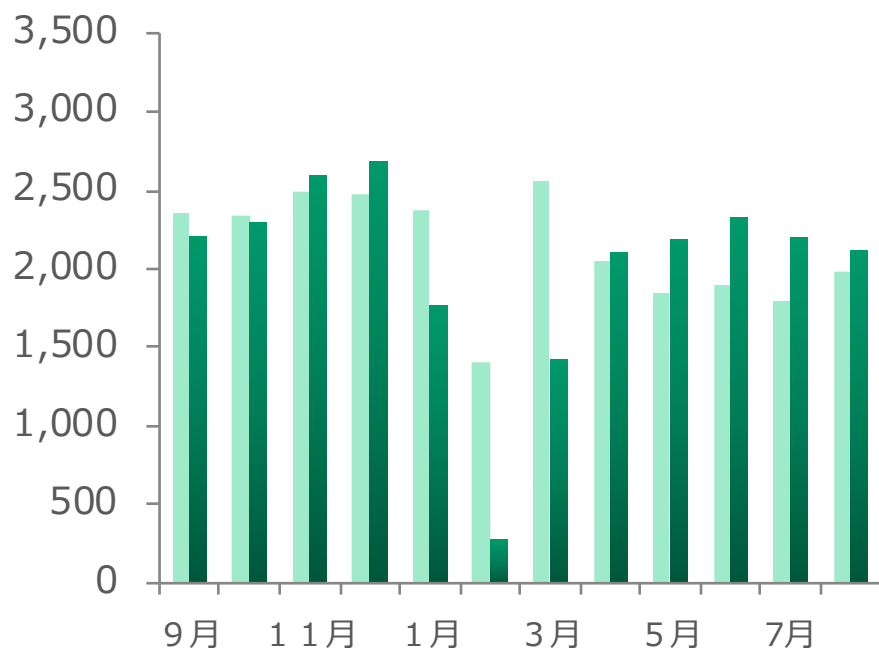


海外自動車生産台数の推移

■ 2018.9-2019.8
■ 2019.9-2020.8

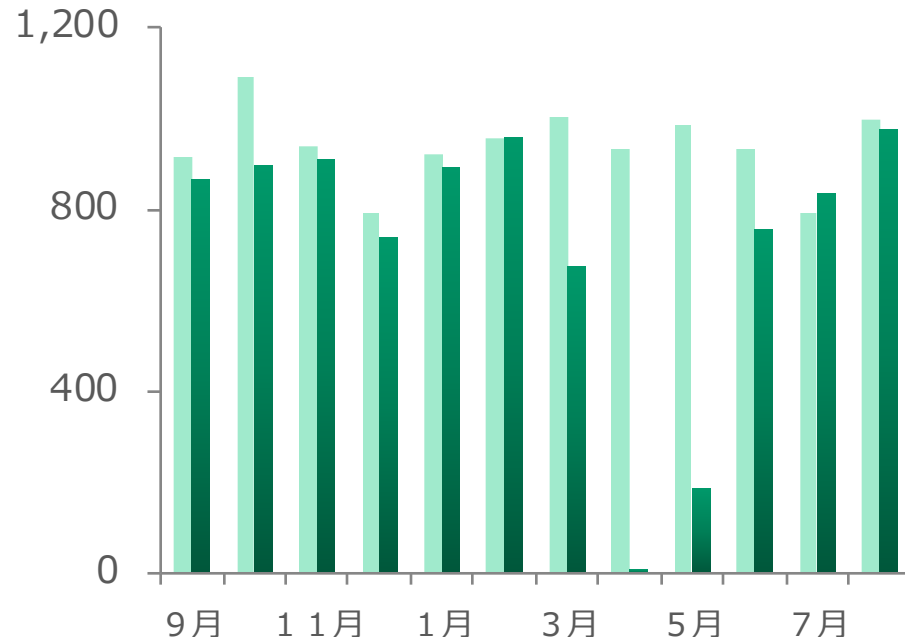
中国

単位：千台



アメリカ

単位：千台



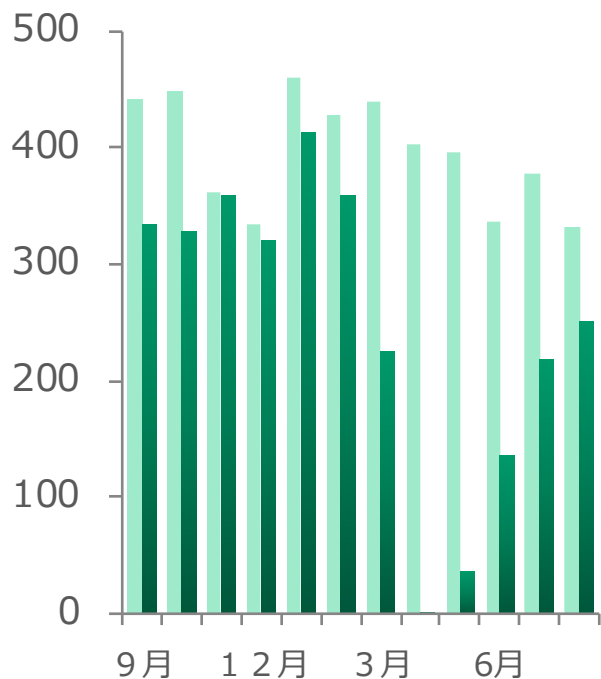
出典：マークラインズ社

海外自動車生産台数の推移

■ 2018.9-2019.8
■ 2019.9-2020.8

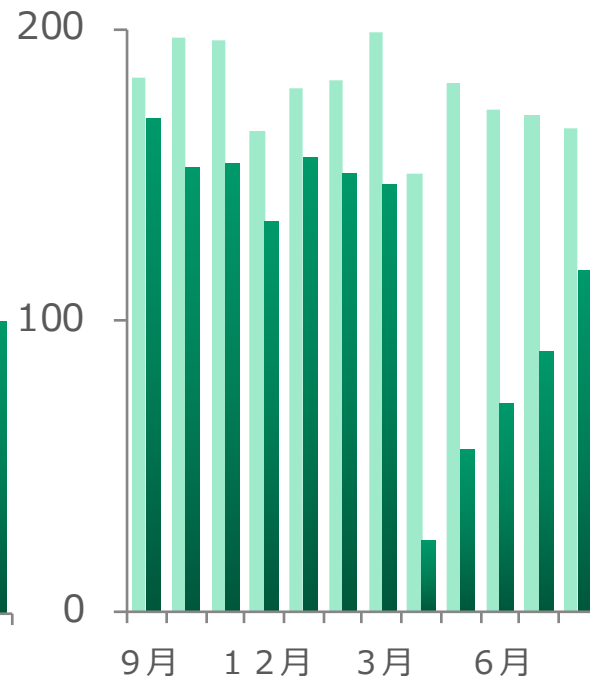
インド

単位：千台



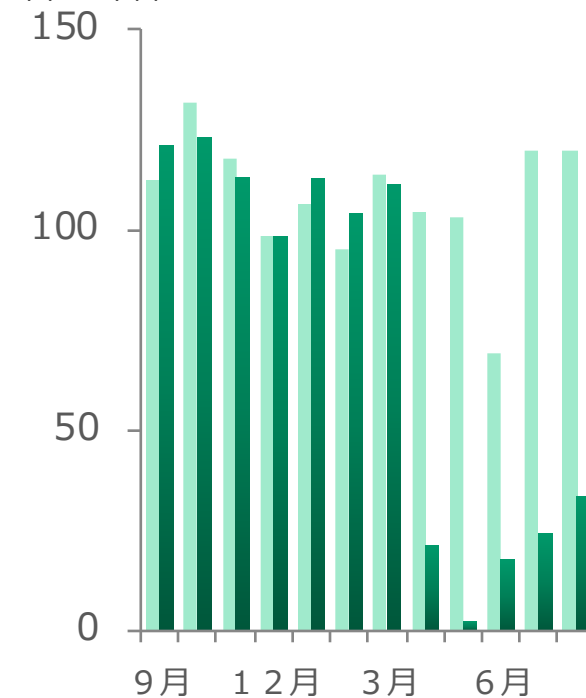
タイ

単位：千台



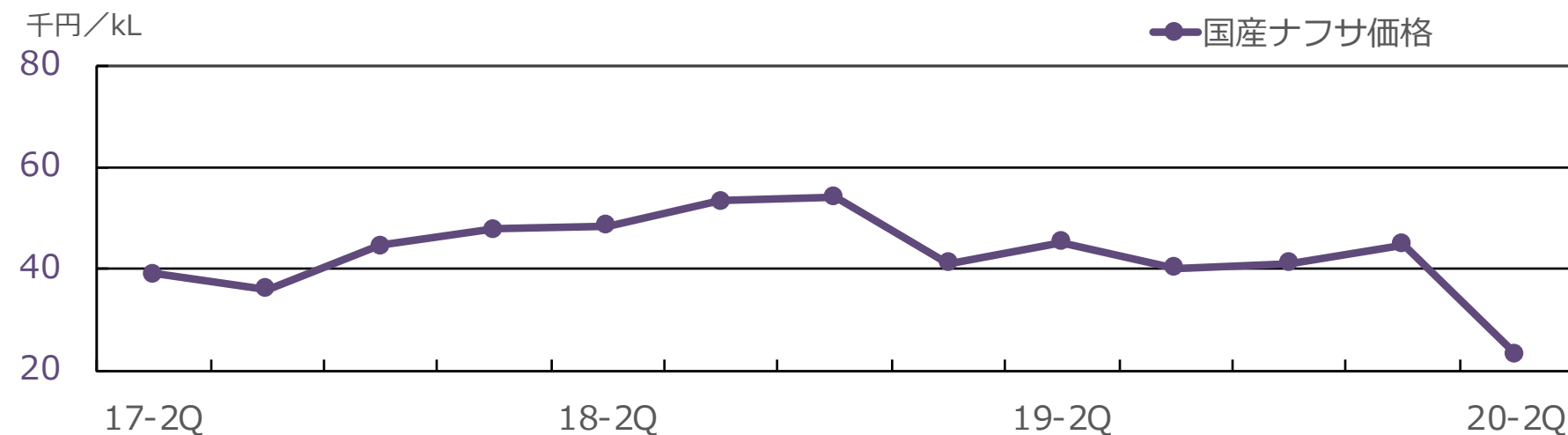
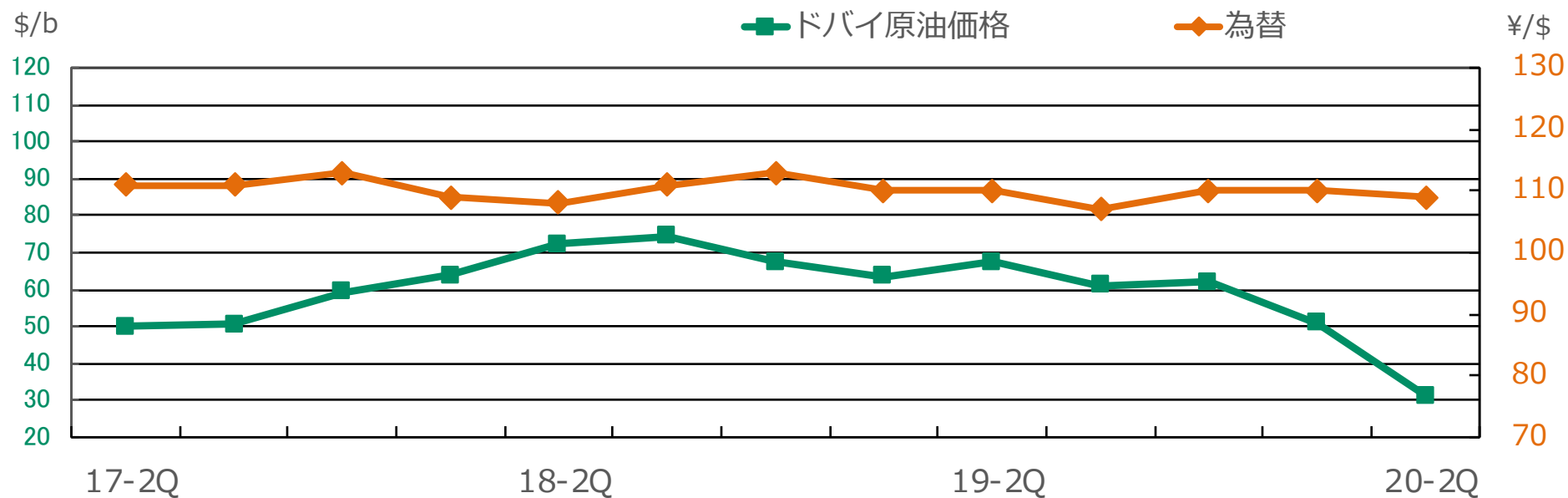
インドネシア

単位：千台



出典：マークライズ社

当期の経営環境（5）



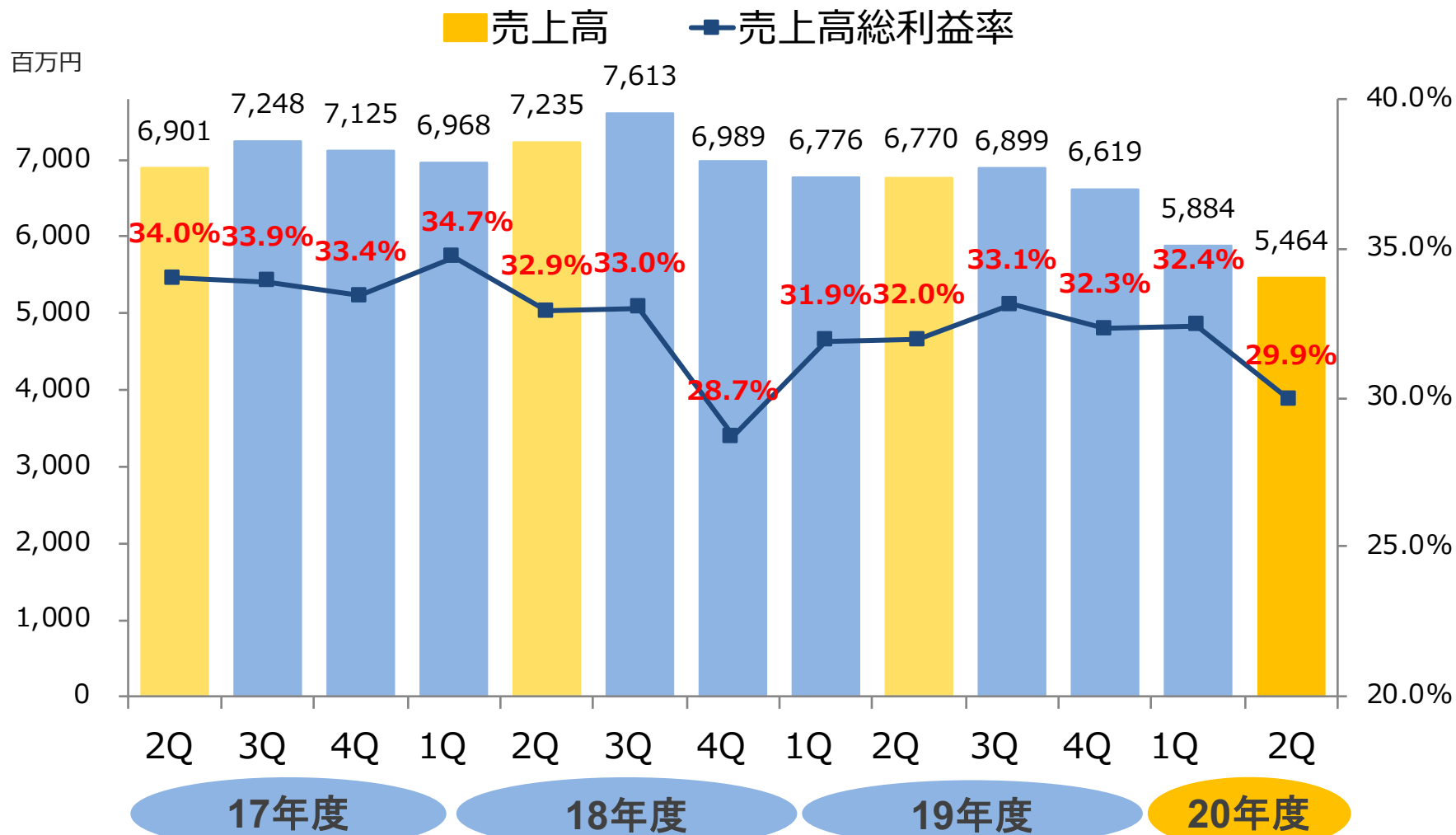
- 自動車部品メーカーの各国での操業停止や減産の影響を受け、特殊潤滑油が減収し、売上高、利益率とも減収減益。

単位：百万円

科目	19/2Q	20/2Q	前年同期比
売上高	13,546	11,348	△16.2%
売上総利益	4,326	3,536	△18.3%
販管費	3,678	3,436	△6.6%
営業利益	648	100	△84.5%
営業外損益	85	△43	—
経常利益	733	58	△92.1%
税引前利益	733	58	△92.1%
当期純利益 (※)	341	△90	—

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

売上高、売上総利益率の推移



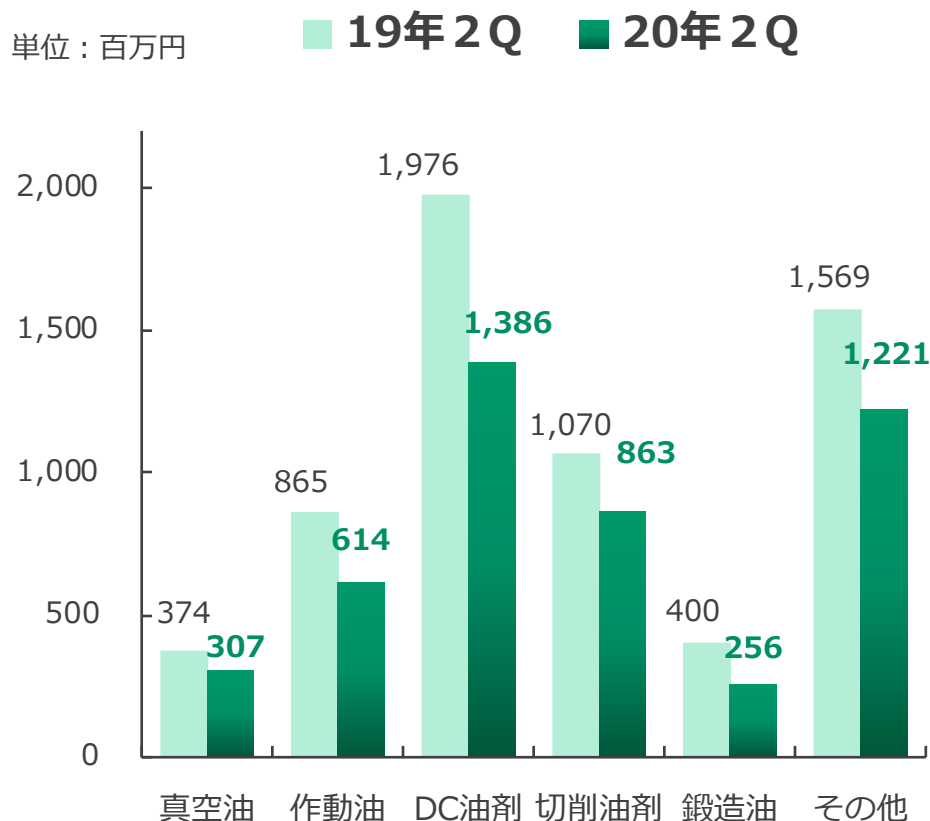
部門別売上高の内訳

MORESCO

単位：百万円

科目	19/2Q	20/2Q	前年同期比
特殊潤滑油部門	6,254	4,647	△25.7%
合成潤滑油部門	1,090	917	△15.9%
（うち、HD潤滑剤）	449	377	△16.1%
素材部門	1,934	1,739	△10.1%
ホトメト接着剤部門	3,378	3,301	△2.3%
その他	864	717	△16.9%
化学品事業計	13,519	11,321	△16.3%
ビル事業	27	27	0.0%
売上高合計	13,546	11,348	△16.2%

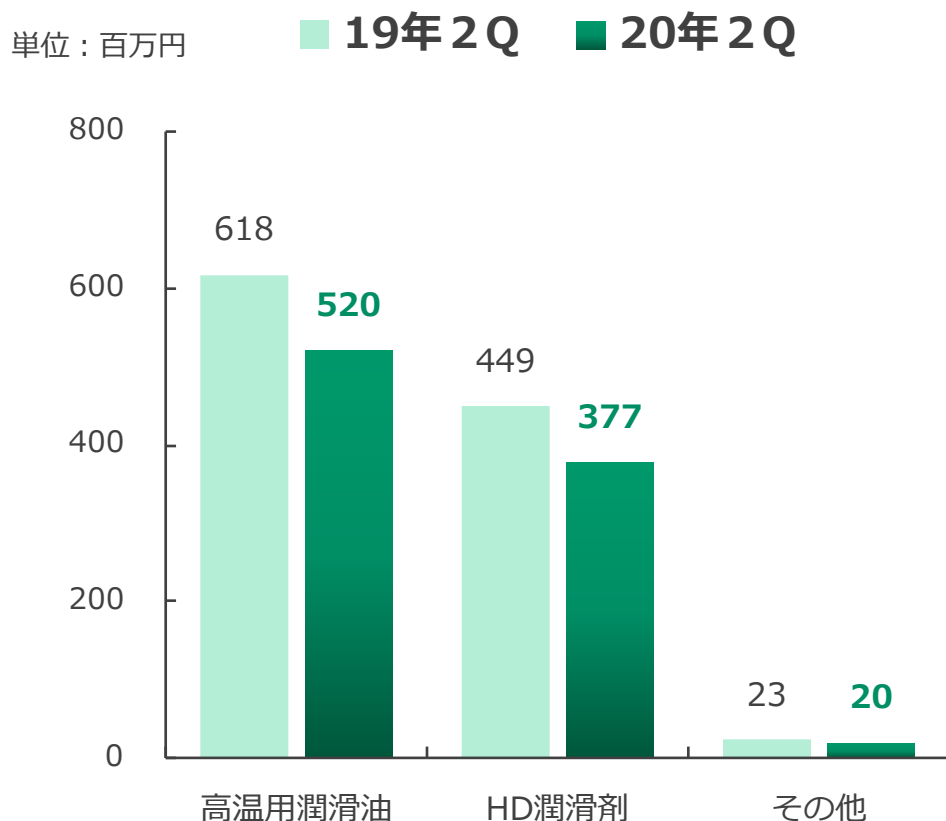
➤ 部門全体の売上は前年比**25.7%減**（4,647百万円）
数量は**23.1%減**



➤ 特殊潤滑油

世界的な自動車生産台数の減少の影響を受け、ダイカスト用油剤等
特殊潤滑油は減収。

➤ 部門全体の売上は前年比**15.9%減**（917百万円）
数量は**16.8%減**



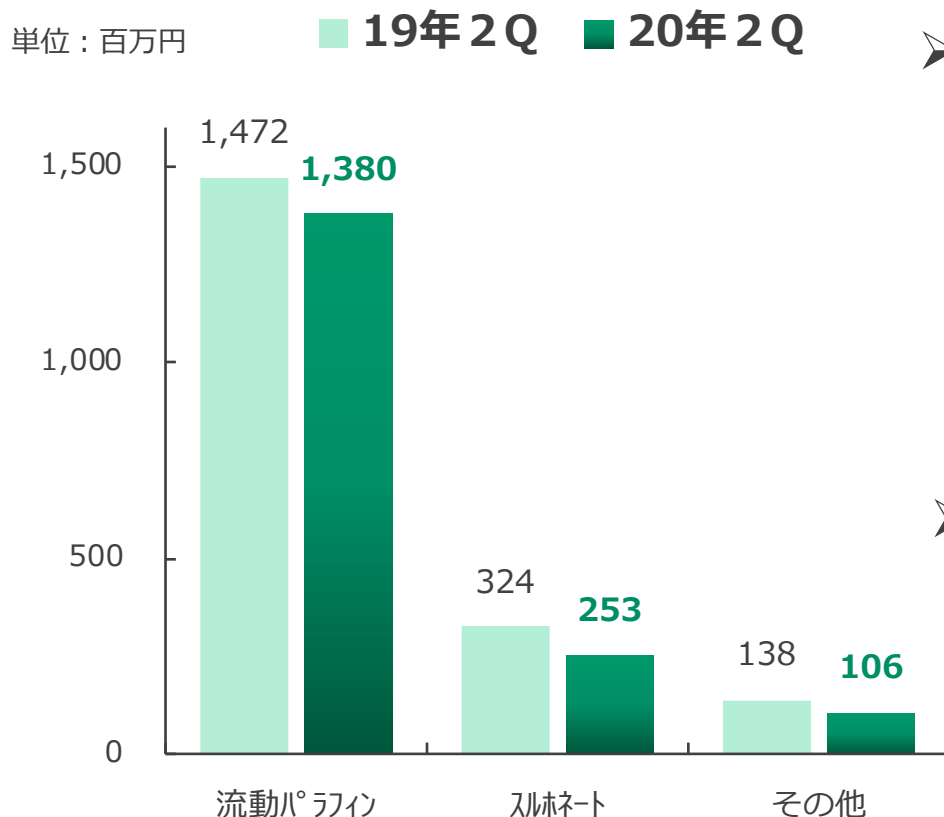
➤ 高温用潤滑油

世界的な自動車生産台数減少の影響を受け減収。

➤ ハードディスク表面潤滑剤

顧客での操業停止の影響を受け減収。

➤ 部門全体の売上は前年比**10.1%減**（1,739百万円）
数量は**10.2%減**



➤ 流動パラフィン

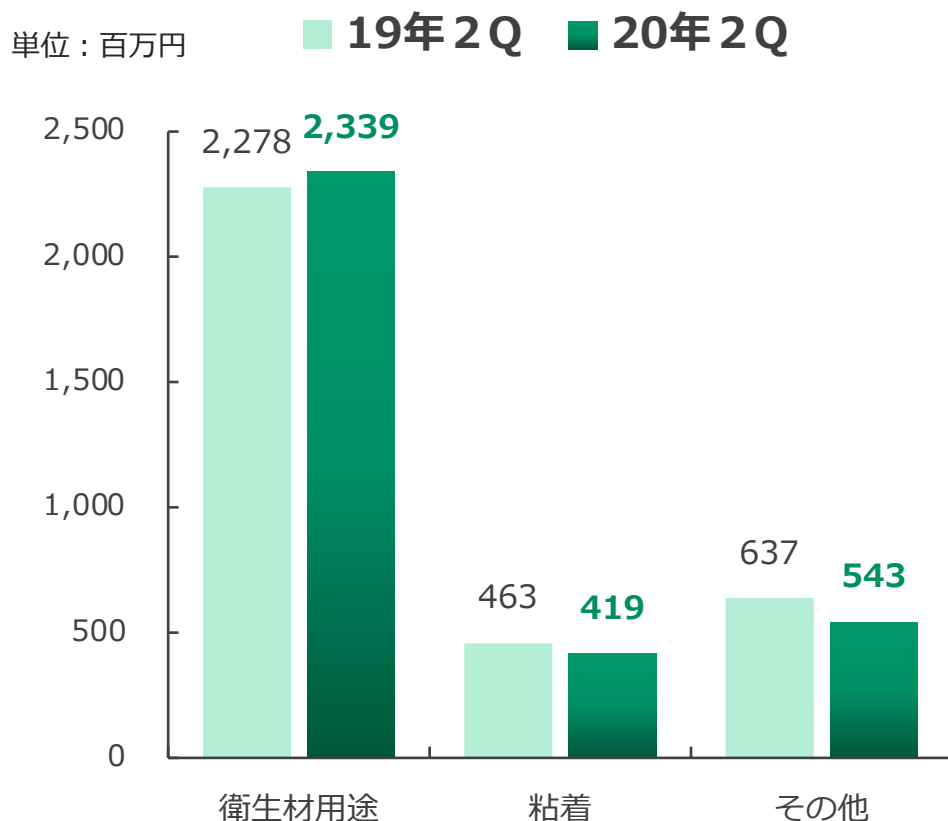
リチウムイオンバッテリー用途、ポリスチレン可塑剤用途での出荷は微減にとどまる。

化粧品用途では、インバウンド消費の減少や外出自粛の影響により減収。

➤ スルホネート

自動車生産台数の減少により減収。

➤ 部門全体の売上は前年比**2.3%減**（3,301百万円）
数量は**6.3%増**



➤ 衛生材用途

堅調に推移し前年同期比微増。

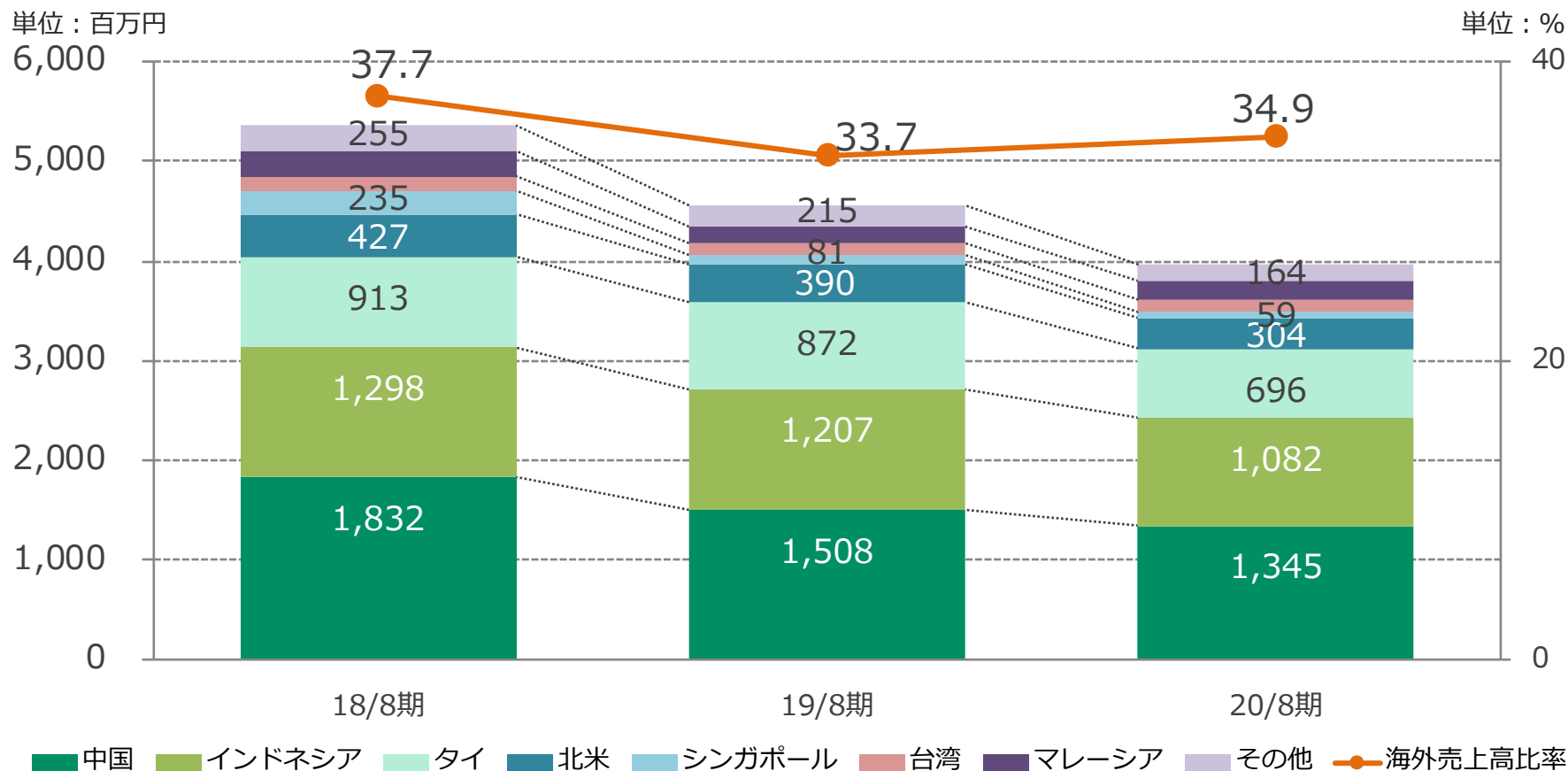
➤ 粘着用途

日本での宅配便需要増加に伴う荷札シールの需要の増加により増収するも、海外での落ちにより減収。

➤ その他

自動車内装関連用途の出荷は減収。

➤ 中国・東南／南アジアでは自動車生産台数の減少により売上が減少。中国・インドネシアのホットメルト接着剤では衛生剤用途、フィルター用途で増収。



決算概要 連結損益計算書

単位：百万円

科目	19/2Q	20/2Q	前年同期比
売上高	13,546	11,348	△16.2%
売上総利益	4,326	3,536	△18.3%
販管費	3,678	3,436	△6.6%
営業利益	648	100	△84.5%
営業外損益	85	△43	—
経常利益	733	58	△92.1%
税引前利益	733	58	△92.1%
当期純利益 (※)	341	△90	—

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

決算概要 連結損益計算書

単位：百万円

科目	19/2Q	20/2Q	前年同期比
売上高	13,546	11,348	△16.2%
売上総利益	4,326	3,536	△18.3%
販管費	3,678	3,436	△6.6%
営業利益	648	100	△84.5%
営業外損益	85	△43	—
経常利益	733	58	△92.1%
税引前利益	733	58	△92.1%
当期純利益 (※)	341	△90	—

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

単位：百万円

	19/2Q	20/2Q	増減	前年同期比
販売費・一般管理費	3,678	3,436	△242	△6.6%
うち、研究開発費	707	661	△46	△6.5%
売上高販管費比率	27.1%	30.2%		
売上高研究開発費比率	5.2%	5.8%		

決算概要 連結損益計算書

単位：百万円

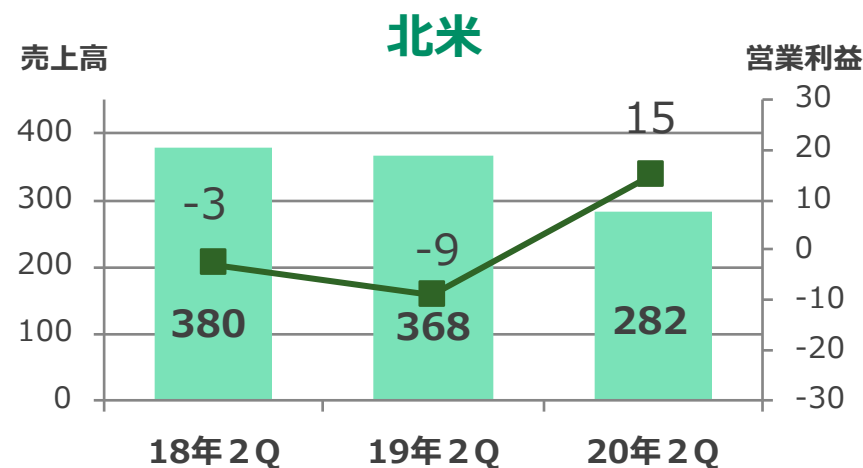
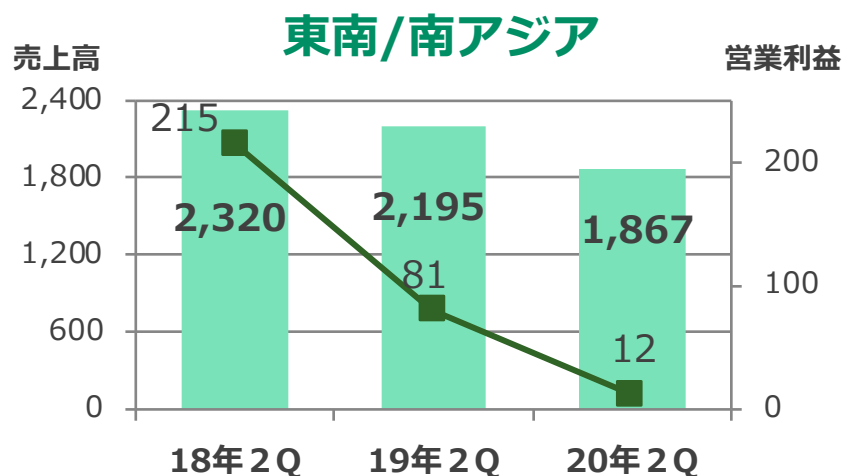
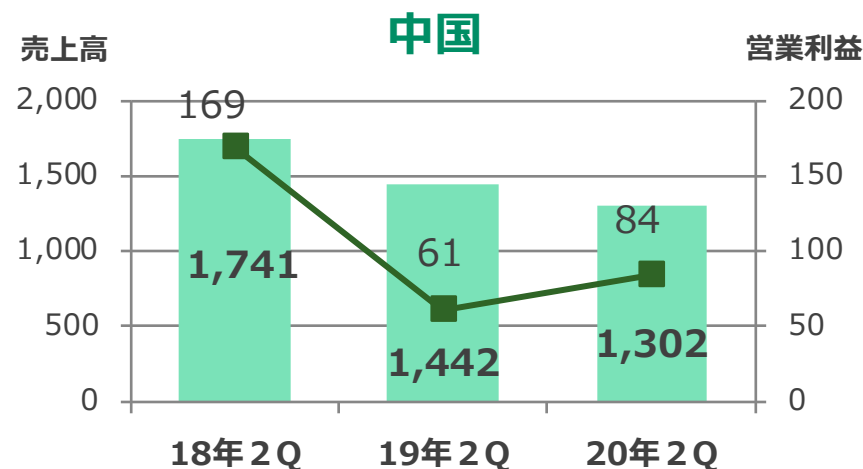
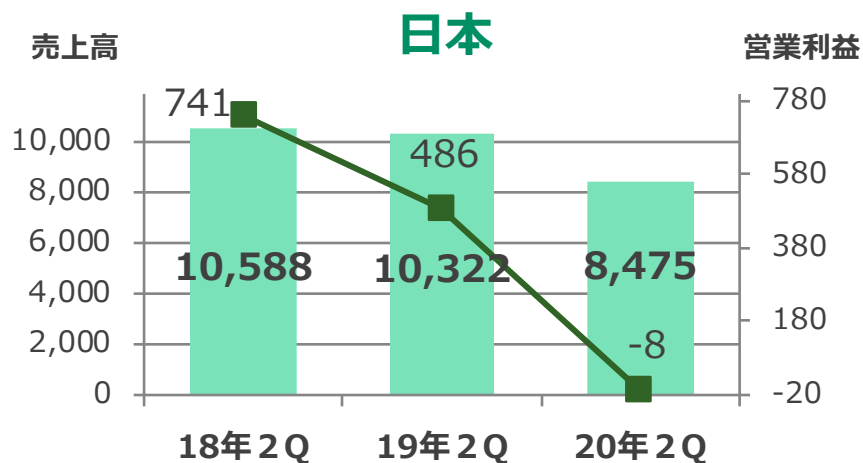
科目	19/2Q	20/2Q	前年同期比
売上高	13,546	11,348	△16.2%
売上総利益	4,326	3,536	△18.3%
販管費	3,678	3,436	△6.6%
営業利益	648	100	△84.5%
営業外損益	85	△43	—
経常利益	733	58	△92.1%
税引前利益	733	58	△92.1%
当期純利益 ^(※)	341	△90	—

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

地域別損益（連結）

■ 売上高 ■ 営業利益

単位：百万円



貸借対照表（連結）

単位：百万円

科目	20/8期	増減	科目	20/8期	増減
現預金	4,128	552	仕入債務	2,873	△1,198
売上債権	5,286	△1,434	有利子負債	4,058	474
棚卸資産	4,556	△223	その他流動負債	1,497	△153
その他	370	10	その他固定負債	612	△0
流動資産計	14,340	△1,095	負債合計	9,041	△878
有形固定資産	8,732	△302	資本金・資本剰余金	4,095	△3
無形固定資産	911	△135	利益剰余金	11,668	△330
投資その他	2,627	14	自己株式	△146	11
固定資産計	12,270	△423	包括利益累計額	△207	△200
			非支配株主持分	2,160	△119
			純資産合計	17,569	△640
資産合計	26,610	△1,518	負債・資本合計	26,610	△1,518

注) 増減：20/2期末との比較

単位：百万円

科目	19/2Q	20/2Q	増減
設備投資額 合計	708	326	△382
MORESCO	244	269	25
連結子会社	464	57	△407
減価償却費	649	652	+ 3

➤ 主な設備投資（取得ベース）

- 本社研究開発設備
- 赤穂工場製造設備
- 千葉工場製造設備

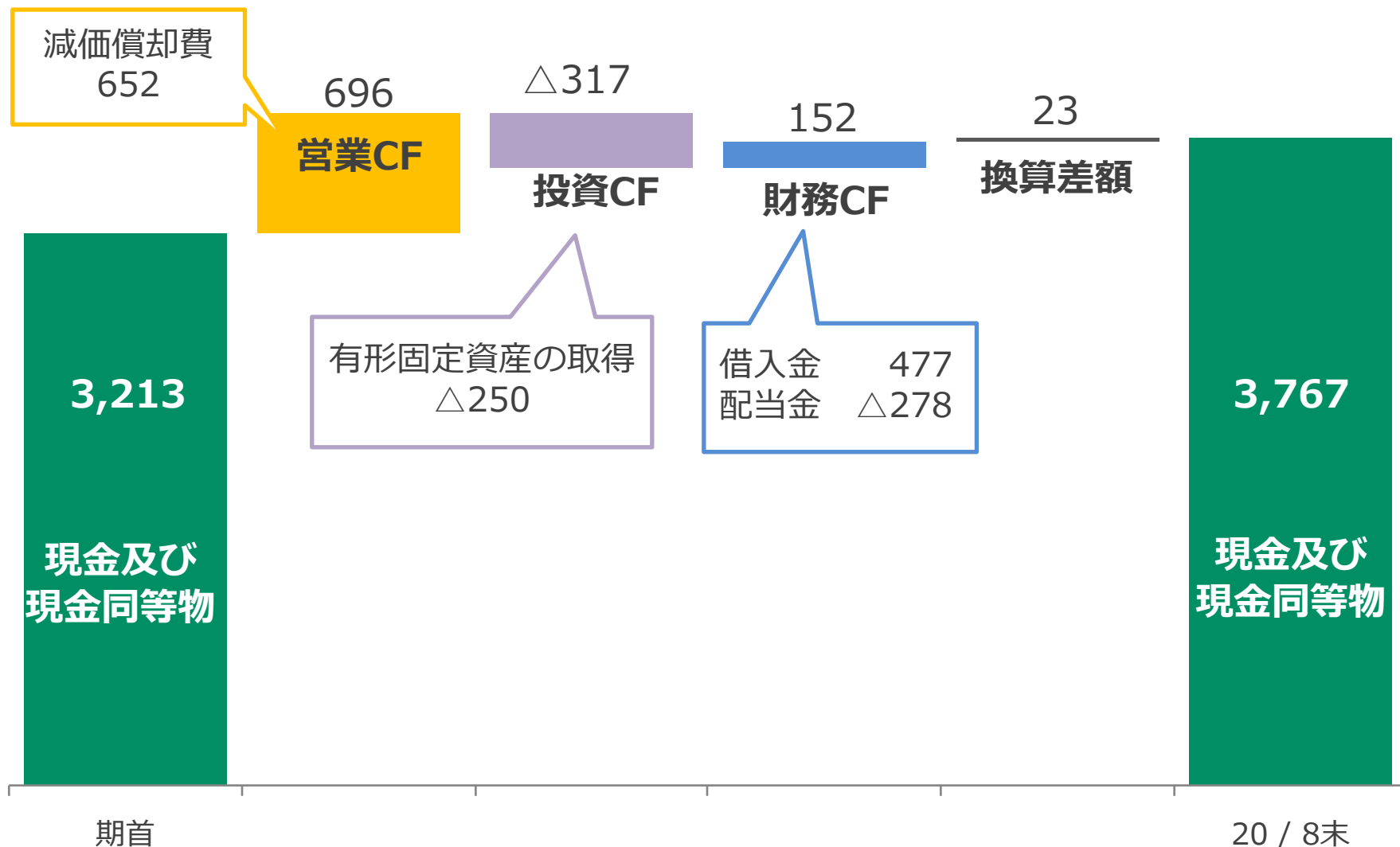
単位：百万円

科目	20/2末	20/8末	増減
短期借入金※	2,341	3,053	+712
長期借入金	1,244	1,005	△239
借入金合計	3,585	4,058	+473
有利子負債比率	12.7%	15.2%	

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

キャッシュフロー（連結）

単位：百万円



	18/2Q	19/2Q	20/2Q
1株あたり			
四半期純利益	81.40円	35.57円	△9.35円
自己資本比率	56.5%	55.5%	57.9%
売上高経常利益率	9.0%	5.4%	0.5%
(参考) 株式数 (期末)	9,697千株	9,697千株	9,697千株
(参考) 期末株主数	10,257名	12,340名	16,416名

科目	2019年2Q	2019年度	2020年2Q	2020年度予想
売上高	13,546	27,064	11,348	24,000
営業利益	648	1,279	100	650
経常利益	733	1,568	58	750
当期純利益	341	776	△90	300

新製品・新分野

愛媛大学と新規アレルギー治療薬の共同研究開発に合意

気管支喘息
アレルギー性鼻炎
アトピー性皮膚炎等
幅広いアレルギー疾患に治療効果が期待

ナノエマルジョン技術

- ・薬物の吸収効率改善（経口/経皮）
- ・医農薬、化粧品、サプリ等へ展開推進



大学発ベンチャーの株式会社AutoPhagyGOに出資し共同研究開発を推進。

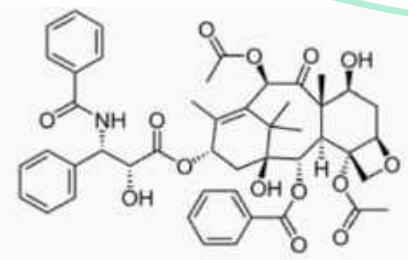
(株)APGOは生活習慣病の改善に期待できるオートファジー分野において、そのオートファジーの活性を制御する創薬の共同研究開発を実施。



オートファジー研究は、老化に関連する様々な現象や疾患の予防・治療へつながる研究。

➤ 医療材料プロジェクト

ヒット化合物



① 創薬研究

構造活性相関解析

リード化合物

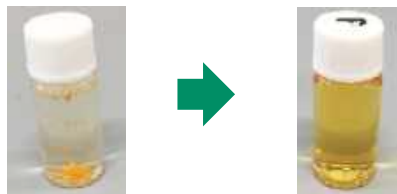


前臨床化合物



② ナノエマルジョン応用

化粧品・サプリへの展開



コエンザイムQ10
クルクミン等

先進アカデミアとの
共創

当社強みの合成化学
技術を生かして！

③ バイオ研究支援試薬

細胞成長促進剤
遺伝子デリバリー



- 有機溶剤を使用しないホットメルト接着剤から、わずかな揮発性有機化合物(VOC)も除去

ホットメルトから発生するVOC削減に成功！

天津莫莱斯柯科技有限公司にて生産を開始

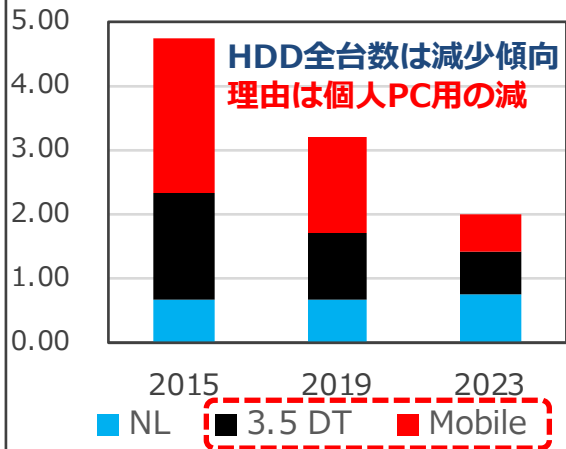


◆メリット

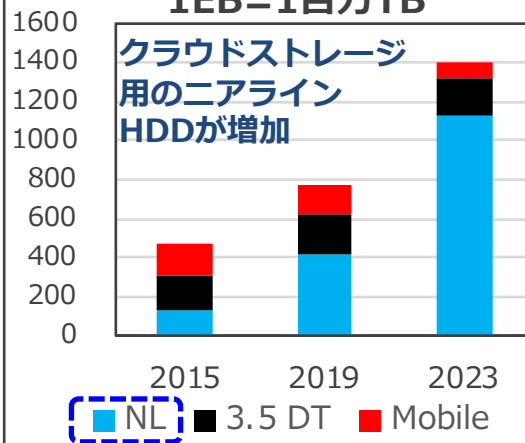
- ・環境負荷を低減による中国の環境規制に対応
- ・安全性をさらに向上させ、シックハウス症候群等を防ぐ。

次世代磁気ディスク用表面潤滑剤

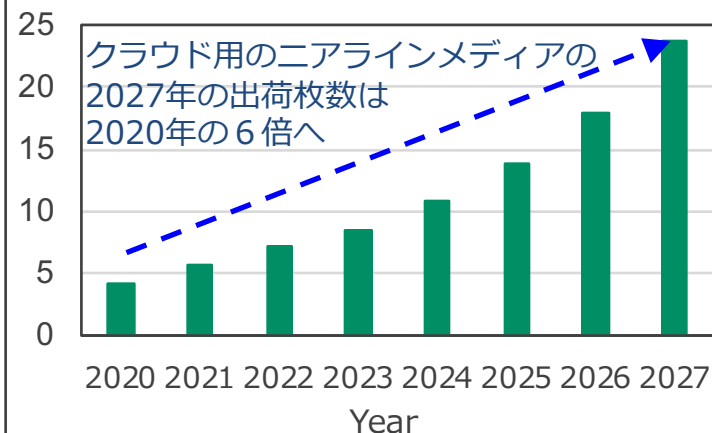
世界のHDD出荷台数
[億台]



世界の全記憶容量
[Exa Byte]
1EB=1百万TB

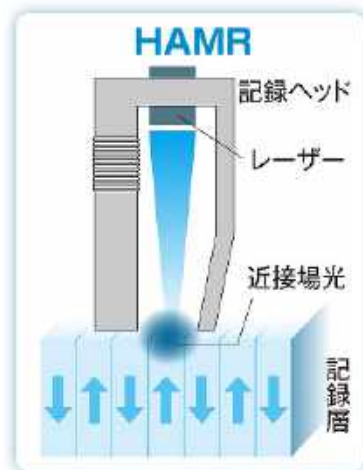


世界のNLメディア出荷枚数
[億枚]



今後は世界の爆発的なストレージ需要と、5Gによる超高速通信により、クラウドストレージ用の大容量ニアラインHDDが主流へ台頭。個人のローカルストレージは年々減少傾向。

HDDはSSDやテープとは棲み分け。MORESCOでは次世代ドライブ用のHDルブを開発し出荷予定。出荷量は2020年以降には増加に転ずる予想。



次世代HDDはレーザー加熱による高温記録 ← 高温用HDルブ開発

ニアラインドライブ

旧4TB HDDは4枚メディア



最新16TB HDDは8枚メディア
(容量4倍、枚数2倍)

➤ 環境にやさしい製品の開発

従来品



少量塗布



水溶性少量塗布型
離型剤



低VOC型ホットメルト
接着剤



廃水処理装置



2020年2月神戸市（兵庫）



2020年2月赤穂市（兵庫）



2020年3月市原市（千葉）

➤ MORESCO流「働き方改革」

業務革新による労働生産性の向上、多用な働き方の推進、定年再雇用制度の充実を図り、従業員が更に活躍できるMORESCOを目指します。

現在の取組内容

- ・ 有給休暇取得の奨励
- ・ 8月の会議ゼロ
「ハッピーオーガスト」
- ・ フレックスタイムの充実

取組む課題

- ・ ITを取り入れた環境整備
- ・ RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)



安心して働き、活躍できる職場作りが評価されひょうご仕事と生活センターから「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」に認定されました。



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

株式会社 **MORESCO**

2020/10

<https://www.moresco.co.jp/>
IR窓口 078-303-9058 (広報室)